



## 家族を迷わせない。5分で終わるデジタル終活

「もしも」の時、一番大切なご家族を、スマートフォンの前で途方に暮れさせてはいけません。

難しく考える必要は、まったくないのです。

完璧な準備は要りません。たった**5分**、ほんの少しの心遣いが、ご家族にとって最高の「**道しるべ**」になります。

今日は、あなたの愛情を未来へつなぐ、一番やさしい方法をお伝えします。



# 【警告】 スマホは「開かずの金庫」に変わる



毎日使っている便利なスマホ。しかし、持ち主がいなくなると、その姿は一変します。

- \* **あなたにしか開けられない鉄壁のロック。** 指紋や顔認証は、ご家族であっても中を見ることはできません。
- \* **通帳も、郵便物もない時代。** ネット銀行や証券の手がかりは、すべてこのスマホの中だけ。
- \* **最悪の選択は「初期化」。** もしご家族が諦めて初期化すれば、大切な資産の情報は永遠に消えてしまいます。

あなたのスマホは、ご家族にとって**希望の箱**ですか？  
それとも**「地獄」への入り口**になりますか？



# Apple/Googleの設定だけで安心できない理由

「故人アカウント」という公式機能があるから大丈夫、と思っていないですか？  
実は、そこには致命的な落とし穴があります。



## \* Appleの「故人アカウント管理連絡先」

- \* 写真やメモは見られます。しかし、お金に繋がるパスワード群（iCloudキーチェーン）は、引き継ぎの**対象外**です。

## \* Googleの「アカウント無効化管理ツール」

- \* 家族に届く通知メールが非常に事務的で、多くの場合「迷惑メール」や「詐欺」と間違われて削除されてしまいます。

これらの機能は、あくまで「思い出」を守るためのもの。ご家族が本当に必要とする「資産」の情報には届かないのです。



# 衝撃の事実：iPhoneの遺影は見れても、銀行残高は見れない



これが、ご遺族が直面する**最も残酷な現実**です。公式の手続きを経て、故人のスマホを開くことができたとしても…そこから先に、**大きな壁が立ちはだかります**。大切な家族写真を見て、思い出に浸ることはできます。しかし、そのすぐ隣にあるはずの**ネット銀行のアプリは、パスワードがなければ永久に開けません**。思い出はすぐそばにあるのに、生活を守るはずだった資産は、決し触れることができない。この「**思い出と資産の断絶**」が、ご家族を苦めるのです。



# 準備の基本：完璧を目指さず「銀行名」だけ残す



では、どうすればいいのでしょうか？

答えは、驚くほど簡単です。

100点満点のリストを作ろうとして、挫折する必要はありません。

IDやパスワード、秘密の質問…すべてを書き出すのは大変です。

一番重要なのは、たった一つ。「どの金融機関を使っているか」という事実そのものです。

「〇〇銀行」「△△証券」

この「口座のありか」さえご家族が知っていれば、あとは戸籍謄本などの正式な書類を使って、専門家（弁護士や司法書士）が必ず手続きを進めてくれます。パスワードが無くても、まずは大丈夫なのです。





## 【裏技】PayPay銀行の「無料・即時残高証明」が最強の理由

「口座のありか」を伝える、最も確実に簡単な裏技があります。

特にPayPay銀行をご利用の方は幸運です。

他の銀行では数週間、数千円かかる「残高証明書」が、  
アプリからたった1分、しかも無料で即時発行できます。

1. アプリで発行ボタンを押す
2. PDFファイルを印刷する
3. それを保管する

たったこれだけで、法的に通用する「資産の証拠」が完成します。これはご家族にとって何より心強いお守りになります。

(楽天銀行などをお使いなら、入出金明細のスクリーンショットを印刷するだけでも十分な手がかりになりますよ。)



# パスワードの残し方：上級者は「1Password」

パソコンやスマホの操作に慣れている方なら、この方法が最も安全でスマートです。

「1Password」などのパスワード管理アプリは、無数のIDとパスワードを、たった一つの「マスターパスワード」で管理してくれます。

ご家族に伝えるのは、**その「マスターパスワード」ただ一つだけ。**

これを残しておけば、銀行、証券、SNSなど、あなたのデジタル世界のすべてに、安全にアクセスできます。まさに、デジタル資産の「万能鍵」です。



1Password



# パスワードの残し方：一般の方は「100円修正テープ」

## 「100円修正テープ」

「アプリは少し難しくて…」という方も、ご安心ください。

もっと確実で、誰にでもできる素晴らしい方法があります。

使うのは、100円ショップで買える「修正テープ」です。



丈夫な紙に、スマホのロック解除パスワードを書きます。

② その上から、修正テープを3～4回、重ねて塗りつぶします。



これで、お手製の「スクラッチカード」の完成です。

普段は誰も中身を見られず、ご家族がコインで削れば、初めてパスワードが分かる仕組みです。開封したことも一目で分かるので、防犯上も安心ですね。





## 保管場所の正解「実印」と一緒に。

さて、この大切な「証拠」や「カード」は、どこに保管すれば良いのでしょうか？

答えは一つしかありません。

「ご家族が、相続の時に100%探し出す場所」です。

それは、「実印」や「年金手帳」「保険証券」などを保管している場所。

引き出しの奥、金庫の中、仏壇のそば… ご家庭によって様々でしょう。  
その「一番大事なもの」たちが集まる場所に、このデジタル終活のキーアイテムも、  
そっと仲間入りさせてあげてください。そうすれば、絶対にご家族の目に留まります。





## 終わりに：今すぐ家族のLINEに 「銀行名」を送ろう

ここまでお聞きいただき、ありがとうございました。

たくさんの方をお伝えしましたが、すべてを一度にやる必要はありません。

今日、この後、たった10秒でできる、最も価値ある一歩を踏み出してみませんか？

今すぐ、ご家族のLINEを開いて、こう送るだけです。  
「私が使っているネット銀行は、〇〇銀行だよ」

この、たった一行のメッセージが、将来のご家族の数百時間に及ぶかもしれない検索と、計り知れない心労を、ゼロにしてくれます。

あなたの今日の小さな行動が、未来の家族を守る最大の愛情です。  
さあ、今すぐ。